

学校だより



令和6年1月号（1月9日発行）
東京都立中野特別支援学校長 和田 慎也
<https://nakano-sh.metro.ed.jp/>

令和6年が始まりました。元日に発生した令和6年能登半島地震では多くの被害が出てしまいました。被災された方々に、御冥福と御見舞いを申し上げます。本校でも、災害への備えを改めて確認し、子供たちと教職員、来校者を守る体制を強固なものにしてまいります。

さて、令和5年度もあと3ヶ月、令和6年度の準備も進んでいます。すでにPTAだよりでお知らせした内容も含めて、令和6年度の教育活動の主な変更点についてお知らせいたします。

①令和6年度末に「学校休業日」を3日間設定し、修了式を令和7年3月19日とします。

本校の仮設校舎移転に伴う引っ越し作業について、規定の春季休業の日程では不足するため、年度末に3日間の学校休業日を設定します。このことにより、新たな授業日を設定せずとも、学習指導要領で定める年間授業時数を下回ることはありません。

②子供の在校時間を縮減し、毎日の下校時刻が「10分」早まります。

下校指導（放課後等デイサービス車両の送り出しを含む）が教員の休憩時間を圧迫しているため、授業時数を減らすことなく下校時刻を10分繰り上げることにします。

③日々の授業の充実と教職員の働き方改革のため、宿泊行事の精選を行います。

具体的には中学部と高等部の「移動教室」をなくし、宿泊行事は、小学部（5・6年）移動教室、中学部（3年）修学旅行、高等部（2年）修学旅行の各学部1回（1泊2日）とし、行先は関東近県とします。宿泊行事にかかる業務等を縮減することで、日々の授業の充実と教職員の超過勤務時間の縮減を図ります（中学部1年の宿泊防災訓練は継続します）。

④教育課程（教育カリキュラム）の充実を図ります。

具体的には、「自立活動」で行っていた小学部重度・重複学級の国語的・算数的内容を、その一部の時間で単独の教科「国語・算数」に設定します。高等部普通学級では「生活単元学習」で行っていた理科的、社会的内容を、単独の教科「理科」「社会」に設定、子供の学びをさらに深めていきます。

また、令和7年度からの「しいの木分教室（仮称）」の運営準備も進めています。千葉県市原市にある「都立しいの木特別支援学校」の子供たちが本校の仲間になります。子供たち同士の交流学習も検討しています。本年も、どうぞよろしく願いいたします。

【東中野仮設校舎の様子をお伝えします】

今月号から、仮設校舎の進捗状況を画像も含めてお伝えしていこうと考えております。

現在は、校舎の「基礎」となる部分の工事をしています。土台となる大切な工程です。工事現場は安全の配慮のため、白い塀で囲われています。その塀をカラフルなステッカーで彩ろうと、東中野区民センターの方が「アートプロジェクト」を企画していただき、本校の児童・生徒も協力して行いました。その様子は「三中プレイスミライ会議」で検索してみてください。

